

東住吉中学校 校長室だより

令和3年度 No.32

ひまわり



令和4年1月11日(火)

明けましておめでとうございます

—平穏な日常が一日も早く戻ってきますように—



昨年最後の「ひまわり」で、新型コロナウイルスのあらたな変異株の影響は、余談を許す状況ではないと伝えました。年明けから、新型コロナの新規感染者が急増しているのは、報道のとおりです。

ここで大切なのが、正しく恐れるということです。現状を理解したうえで、感染防止対策を緩めないようにしましょう。「会話時のマスク着用」「こまめな手洗いと手指消毒」「密接・密集・密閉の回避」が感染防止の要点です。

今年の十干十二支は壬寅（みずのえとら）。「壬」はもともと「はらむ」という意味で、草木の種子の内部に新しい生命が生まれる状態を表しています。また「寅」は「うごく」の意味を持ち、草木が春の暖かさにより地上に芽を出す状態を表します。この2年間は、新型コロナの影響で、多くのことが停滞してきました。しかし、今年こそは「壬寅」の意味のごとく、さまざまなことが動きだすことを願いましょう。

新年を迎える皆さんには、それぞれに目標を立てたのではないでしょうか。勉強や部活動、学校外での活動など、目標に向かって努力をする姿は素晴らしいことです。しかし、日が経つごとに、年始に立てた目標を達成する意識が薄れていくのも事実です。それでは、目標を達成するためには、どのようなことが必要なのでしょうか。

何かを達成するために最も大切なことは、行動を起こすことです。ただし、やみくもに動けばいいと言うものではありません。目標を達成するために、なすべき行動があると私は思っています。

まず、目標達成のための「積極的な心」を作ることが大切です。積極的な心は、日々の良い習慣から生まれます。「元気に挨拶をする」、「人に優しくする」、「笑顔を絶やさない」、「掃除をきちんとする」、「服装を整える」など、これらのこととは積極的な心をつくる大切な行動です。一つ一つは小さなことでも、それが積み重なると習慣が変わり、人生を良い方向へと導いてくれます。どんなに大きな目標を掲げたとしても、それを達成するための要素は、毎日の小さな積み重ねであることを忘れてはなりません。

次に、「したいこと」よりも「しなければならないこと」を優先することです。明日の授業で、宿題を提出しなければならない。しかし、昨日買った新しいゲームで遊びたい。このような時に、必ず「しなければならない」宿題を優先するような習慣をつければ、目標達成への近道ができるのです。

そして最後に、小さな努力を継続することです。目標を立てても、それを達成するまで頑張りきれない人の多くは、初めは頑張るけれども、途中から尻すぼみになってしまっているのです。

世界を動かすような偉業を成し遂げた人の多くは、良い習慣と小さな努力を積み重ねてきました。このことは、少しの努力で誰にでもできることです。

さあ、3学期が始まりました。それぞれの学年の締めくくりとして、3年生は進路先での活躍、1・2年生は新たな学年での活躍を目指し、それぞれに頑張っていきましょう。